

消えゆく記憶を未来へつなぐ

山口県空襲を伝える写真展

入場無料

会場 岩国市民文化会館 展示室 〒740-0022 山口県岩国市山手町1丁目15番3号

展示期間： 8月12日(水) 13:00-18:00
8月13日(木)~15日(土) 9:00-18:00
8月16日(日) 9:00-17:00 まで



■ 戦時下山口県の航空写真を大判パネルで紹介

1945年(昭和20年)、山口県下の都市や工場は米軍による集中的な空襲を受け、多くの犠牲者が出て市街地は廃墟と化しました。アメリカの国立公文書館には米軍の写真偵察機が空襲の前後に撮影した航空写真のネガフィルムが保管されています。高解像度の画像を大判パネルにして展示しようと、終戦80年の昨年、山口県空襲展実行委員会はクラウドファンディングを実施しました。皆様からご支援いただいた資金で大判パネルを作製、周南市で初お披露目となる1回目の展示会を11月~12月に開催しました。

今回岩国で空襲展を開催するに当たり、終戦直後の岩国陸軍燃料廠や岩国航空基地、岩国駅周辺の様子を収めた航空写真のネガフィルムを新たに入手、展示に活用します。



終戦の前日、B-29により激しい空襲を受ける岩国駅

■ 岩国空襲に関する最新の情報を届けます

岩国は、戦時中に大小合わせて9回の空襲を受けました。これらの空襲のうち、規模の大きなものは、1945年(昭和20年)5月10日の岩国陸軍燃料廠に対する空襲、8月9日の岩国航空基地に対する空襲、終戦の前日8月14日の岩国駅空襲です。今回の展示では、8月9日の岩国航空基地空襲に伴い、その巻き添えで多数の犠牲者が出た川下空襲について、体験者の証言や米軍資料を活用して、さらに詳しく紹介する予定です。



公益財団法人

山口きらめき財団

YAMAGUCHI KIRAMEKI FOUNDATION

この事業は山口きらめき財団の助成金を活用しています

主催：山口県空襲展岩国地区実行委員会

e-mail: yamaguchi.kushuten@gmail.com

後援：岩国市・岩国市教育委員会 協力：山口県空襲展実行委員会

山口県内各地の戦時中の航空写真を展示します

航空写真パネルの内容

No.	地域	撮影日 (1945 年)
1	岩国市街地	8月14日
2	岩国陸軍燃料廠	9月5日
3	岩国駅周辺	9月5日
4	光市街地	7月5日
5	下松市街地	7月5日
6	下松市街地	7月5日
7	徳山市街地	7月5日
8	徳山市街地	8月7日
9	新南陽市街地	7月5日
10	防府市街地	7月5日
11	山口市街地	5月16日
12	宇部市街地	4月13日
13	宇部市街地	6月21日
14	宇部市街地	8月7日
15	小野田市街地	6月21日
16	下関市街地	4月11日
17	下関市街地	7月2日
18	下関市街地	7月5日
19	下関 (彦島)	3月31日
20	長門市街地	7月5日
21	萩市街地	8月7日



1945(昭和20)年9月5日の岩国陸軍燃料廠



1945(昭和20)年9月5日の岩国駅

※パネルに使用している航空写真は、すべて米国立公文書館が所有する航空写真をスキャナーで読み取ったものです。
※地域によって写真の点数に開きがあるのは、写真偵察の頻度やフィルムの保管状況、検索スキルなどさまざまな理由によるものです。



1945(昭和20)年8月10日の岩国市街地

8月14日の光海軍工廠と岩国駅空襲

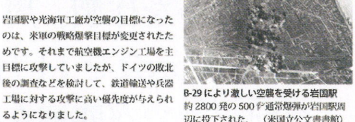
終戦前日の8月14日の日、岩国駅と光海軍工廠がB-29による空襲を受け、多くの犠牲者が出ました。B-29による最後の大規模な日本本土空襲で、フィナーレとも言われています。

8月6日には広島に原子爆弾が投下され、8月9日にはソ連が参戦しました。さらに同日長崎に2発目の原子爆弾が投下されると、日本は条件付きながら降伏を受け入れました。これを受けて米軍はB-29による戦略爆撃を一時中止します。日本国内では降伏の条件をめぐって朝野両派が激論を繰り返して、回答の遅れを招いたB-29部隊の最高司令官アーノルド大將は、「最後の空襲」として1000機のB-29で東京を空襲することを誓いました。これに対してマリアナでB-29部隊を指揮するスワーツ大將は、焼け野原になった東京ではなく、岩国駅と光海軍工廠を含めた分散攻撃を主張し、結局この提案が認められました。

岩国駅や光海軍工廠が空襲の目標になったのは、米軍の戦略爆撃目標が変更されたためです。それまで航空機エンジン工場を主目標に攻撃していましたが、ドイツの敗北後の調査などを検討して、戦道輸送や兵器工場に対する攻撃に高い優先度が与えられるようになりました。



空襲後の岩国駅周辺の様子 (米国立公文書館)



B-29により激しい空襲を受ける岩国駅 約2800発の500kg通弾型爆弾が空国駅周辺に投下された。(米国立公文書館)

光海軍工廠の空襲開始時刻は13時17分 (山口地方検事長が司法大臣に宛てた文書「空襲被害状況報告」には、光工廠に対する空襲開始時刻が13時17分と記されている。これは米軍の記録と一致している。)(米国立公文書館)

激しい空襲を受けて焼けた光海軍工廠 (米国立公文書館)

米軍がカラー映像で残した光海軍工廠の廃墟 1946年3月4日撮影。(米国立公文書館)

テーマ別パネルの一例

秋には下松市立図書館で写真展示を行います

― 消えゆく記憶を未来へつなぐ ―
山口県空襲を伝える写真展 (下松会場)

開催期間: 10月23日(金) ~ 10月31日(土)
10月23日(金) ~ 30日(金) 9:30 ~ 17:00
10月26日(月) 休館日
10月31日(土) 9:30 ~ 16:00

会場: 下松市立図書館 郷土資料室
〒744-0015 山口県下松市大手町2丁目3番1号
主催: 山口県空襲展実行委員会
問い合わせ: e-mail: yamaguchi.kushuten@gmail.com
後援: 下松市・下松市教育委員会
・講演会 10月25日(日) 14:00 ~ 15:30
サルビアホールにて 講師: 工藤共同代表

